



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 株式会社 沖縄銀行  
 コード番号 8397 URL <https://www.okinawa-bank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 山城 正保  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 佐喜真 裕  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福

TEL 098-867-2141

(表示単位未満は切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,820	△6.3	1,910	△9.4	1,278	△2.1
2019年3月期第1四半期	13,690	△2.9	2,108	△41.7	1,306	△45.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,173百万円 (△29.2%) 2019年3月期第1四半期 1,658百万円 (△38.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	53.41	53.30
2019年3月期第1四半期	54.42	54.26

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,303,525	158,731	6.7
2019年3月期	2,253,872	158,901	6.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 155,954百万円 2019年3月期 156,164百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,800	△5.4	3,200	△19.1	1,900	△21.4	79.61
通期	49,500	△7.4	7,800	△26.3	5,200	△27.7	218.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	24,240,000 株	2019年3月期	24,240,000 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	441,707 株	2019年3月期	296,959 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	23,935,061 株	2019年3月期1Q	24,001,071 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) (参考) 四半期信託財産残高表	7
3. 補足説明	8
(1) 損益の状況【単体】	8
(2) 預金等、貸出金の状況【単体】	9
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体・連結】	11
(4) 有価証券の評価差額【連結】	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、貸出金利息は増加したものの、株式等売却益及び有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比8億70百万円減少の128億20百万円となりました。

また、経常費用は、国債等債券売却損の減少などにより、前年同期比6億71百万円減少の109億10百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比1億98百万円減少の19億10百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比27百万円減少の12億78百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は前年度末比496億円増加の2兆3,035億円、純資産は前年度末比1億円減少の1,587億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金は、法人取引先へのSR（ストロングリレーション）活動による取引深耕の取組みにより、従業員の退職金、年金及び給与振込等の取引が拡大したことなどから、個人預金が増加したほか、法人預金、公金預金も順調に増加したことから、銀行・信託勘定合計で前年度末比523億円増加の2兆694億円となりました。

貸出金は、住宅ローンを中心に生活密着型ローンは増加したものの、例年の工事資金の返済等季節的要因により法人向け及び地公体向け貸出が減少したことから、銀行・信託勘定合計で前年度末比143億円減少の1兆6,057億円となりました。

有価証券は、国内債券及び投資信託等を中心に、金融市場動向を睨みながら資金の効率的運用に努めた結果、前年度末比63億円増加の3,951億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	155,396	213,416
コールローン及び買入手形	983	754
買入金銭債権	542	618
金銭の信託	1,155	1,002
有価証券	388,836	395,175
貸出金	1,618,781	1,604,507
外国為替	5,214	5,231
リース債権及びリース投資資産	19,185	19,025
その他資産	41,045	41,712
有形固定資産	20,179	20,142
無形固定資産	2,116	2,000
繰延税金資産	716	687
支払承諾見返	8,762	8,341
貸倒引当金	△9,042	△9,089
資産の部合計	2,253,872	2,303,525
<b>負債の部</b>		
預金	1,993,673	2,047,237
借入金	45,723	45,592
外国為替	79	58
信託勘定借	22,210	21,017
その他負債	18,277	17,192
賞与引当金	747	197
役員賞与引当金	25	7
退職給付に係る負債	3,326	3,124
役員退職慰労引当金	32	16
株式報酬引当金	52	52
信託元本補填引当金	62	60
利息返還損失引当金	56	56
睡眠預金払戻損失引当金	239	205
特別法上の引当金	5	5
繰延税金負債	497	430
再評価に係る繰延税金負債	1,197	1,197
支払承諾	8,762	8,341
負債の部合計	2,094,970	2,144,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	19,655	19,655
利益剰余金	103,978	104,416
自己株式	△1,045	△1,546
株主資本合計	145,313	145,251
その他有価証券評価差額金	10,609	10,363
繰延ヘッジ損益	—	△34
土地再評価差額金	1,208	1,208
退職給付に係る調整累計額	△967	△834
その他の包括利益累計額合計	10,850	10,702
新株予約権	157	157
非支配株主持分	2,580	2,620
純資産の部合計	158,901	158,731
負債及び純資産の部合計	2,253,872	2,303,525

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
経常収益	13,690	12,820
資金運用収益	7,354	7,359
(うち貸出金利息)	6,183	6,311
(うち有価証券利息配当金)	1,148	914
信託報酬	46	35
役務取引等収益	1,480	1,313
その他業務収益	3,545	3,463
その他経常収益	1,263	648
経常費用	11,582	10,910
資金調達費用	234	296
(うち預金利息)	166	246
役務取引等費用	750	739
その他業務費用	3,857	2,794
営業経費	6,167	6,141
その他経常費用	571	937
経常利益	2,108	1,910
特別損失	1	0
固定資産処分損	1	0
税金等調整前四半期純利益	2,107	1,909
法人税、住民税及び事業税	509	595
法人税等調整額	250	△6
法人税等合計	759	588
四半期純利益	1,347	1,321
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,306	1,278

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,347	1,321
その他の包括利益	310	△147
その他有価証券評価差額金	270	△245
繰延ヘッジ損益	△11	△34
退職給付に係る調整額	50	132
四半期包括利益	1,658	1,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,617	1,131
非支配株主に係る四半期包括利益	40	42



## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	9,177	2,756	11,934	901	12,836	△15	12,820
セグメント間の内部経常収益	206	32	239	556	796	△796	—
計	9,384	2,788	12,173	1,458	13,632	△811	12,820
セグメント利益	1,840	120	1,961	107	2,069	△159	1,910

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、信用保証業等であります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## (6) (参考) 四半期信託財産残高表

(単位:百万円)

資産		
科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
貸出金	1,285	1,216
その他債権	0	0
銀行勘定貸	22,210	21,017
合計	23,496	22,234

(単位:百万円)

負債		
科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
金銭信託	23,496	22,234
合計	23,496	22,234

## 3. 補足説明

## (1) 損益の状況【単体】

経常収益は、貸出金利息及びその他の臨時収益が増加したものの、有価証券売却益及び有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比6億81百万円減少の93億84百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益が減少したことなどにより、前年同期比1億4百万円減少の19億49百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益が減少したことや与信費用が増加したことなどから、前年同期比1億20百万円減少の18億40百万円となりました。また、四半期純利益は、法人税等の減少により、前年同期比46百万円増加の13億93百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	2020年3月期 第1四半期 (3ヶ月)	対前年同期比	2019年3月期 第1四半期 (3ヶ月)	2020年3月期 通期業績予想 (12ヶ月)
経常収益	9,384	△ 681	10,066	33,900
業務粗利益	7,611	807	6,804	
資金利益	7,019	△ 57	7,076	
役務取引等利益	437	△ 97	534	
その他業務利益	155	962	△ 807	
うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	83	917	△ 833	
経費(除く臨時処理分)	5,578	△ 5	5,583	
うち人件費	2,406	26	2,379	
うち物件費	2,530	△ 15	2,546	
コア業務純益	1,949	△ 104	2,053	6,800
一般貸倒引当金繰入額 ①	603	710	△ 106	
業務純益	1,429	102	1,327	7,200
臨時損益	411	△ 222	634	
うち株式等関係損益(3勘定戻)	△ 30	△ 934	903	
うち不良債権処理額 ②	8	△ 352	360	
うち信託元本補填引当金戻入益 ③	2	2	-	
うち償却債権取立益	44	30	14	
経常利益	1,840	△ 120	1,961	6,600
特別損益	△ 0	1	△ 1	
税引前四半期純利益	1,840	△ 119	1,960	
法人税、住民税及び事業税	483	85	397	
法人税等調整額	△ 35	△ 251	215	
法人税等合計	447	△ 165	613	
四半期純利益	1,393	46	1,346	4,700
与信費用(①+②-③)	609	355	253	

(注) 1. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益＋信託勘定不良債権処理額

2. 業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

## (2)預金等、貸出金の状況【単体】

## ①預金等

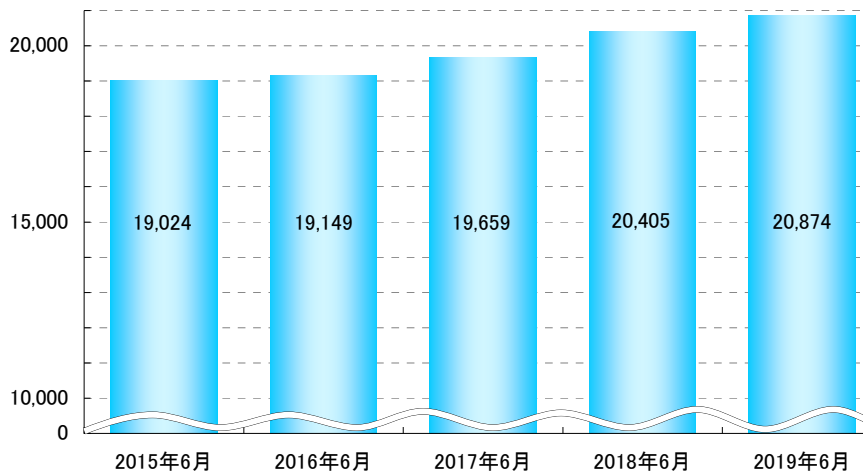
個人預金を中心に年金・給与振込、退職金獲得、法人取引先へのSR（ストロングリレーション）活動による従業員取引の拡大を受けて順調に増加した結果、銀行・信託勘定合計で前年同期比469億円増加（+2.29%）の2兆874億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考)	(単位：億円、%)
	①2019年6月末	②2018年6月末	増減額(①-②) (増減率)	③2019年3月末	増減額(①-③) (増減率)
預金(未残)	20,874	20,405	469 (2.29)	20,370	504 (2.47)
うち 個人預金	12,999	12,441	557 (4.48)	12,722	277 (2.17)
預金(平残)	20,605	20,115	490 (2.43)	20,190	414 (2.05)

(注) 信託勘定を含んでおります。

(億円)

## 預金(未残)の推移



## 〔預かり資産残高〕

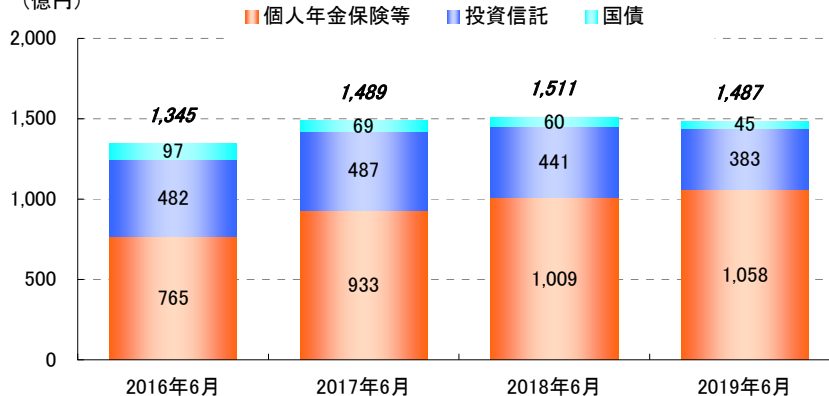
	(単位：億円、%)			(参考)	(単位：億円、%)
	①2019年6月末	②2018年6月末	増減額(①-②) (増減率)	③2019年3月末	増減額(①-③) (増減率)
預かり資産	1,487	1,511	△23 (△1.5)	1,507	△20 (△1.3)
国債	45	60	△14 (△24.3)	49	△4 (△8.2)
投資信託	383	441	△58 (△13.1)	398	△14 (△3.7)
個人年金保険等	1,058	1,009	49 (4.8)	1,059	△1 (△0.1)

《預かり資産》

※ お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。

## 預かり資産残高の推移

(億円)



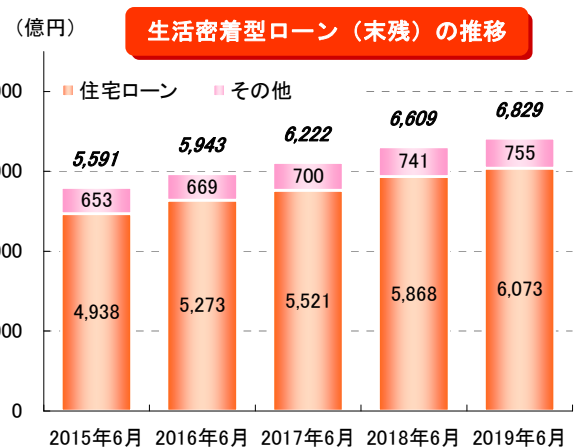
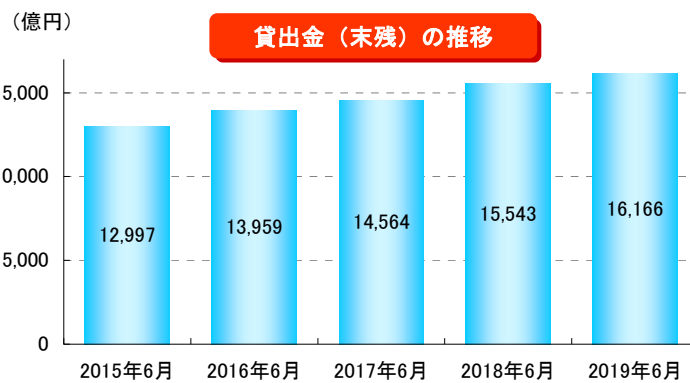
2016年3月期より個人年金保険等の残高ベースでの集計が可能となったことから、直近4年の6月期残高推移を記載しております。

## ②貸出金

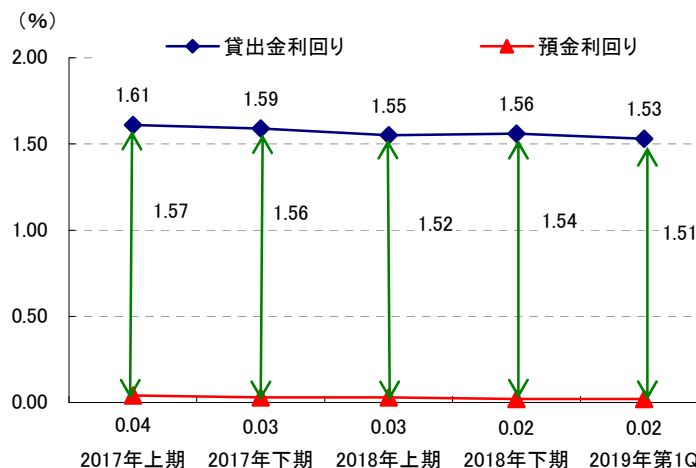
貸出金は、生活密着型ローンの営業強化を図ったことから、引き続き住宅ローンやアパートローンが順調に増加したほか、事業性融資においても、中小企業等に対し事業性評価による融資推進を積極的に取り組んだ結果、銀行・信託勘定合計で前年同期比623億円増加(+4.00%)の1兆6,166億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考) (単位：億円、%)	
	①2019年6月末	②2018年6月末	増減額(①-②) (増減率)	③2019年3月末	増減額(①-③) (増減率)
貸出金(末残)	16,166	15,543	623 (4.00)	16,317	△150 (△0.92)
うち事業性貸出	8,112	7,764	348 (4.49)	8,238	△125 (△1.52)
うち生活密着型ローン	6,829	6,609	219 (3.32)	6,792	36 (0.54)
うち住宅ローン	6,073	5,868	205 (3.49)	6,035	37 (0.62)
貸出金(平残)	16,046	15,345	701 (4.56)	15,657	389 (2.48)

(注) 信託勘定を含んでおりません



## ③利回りの推移



(注1) 「2019年第1Q」は第1四半期(4~6月)の会計期間金利回り

(注2) 信託勘定を含んでおりません。

(注3) 預金利回りは、実質円金利ベースで記載しております。  
※実質円金利ベース…予約(スワップ)付外貨定期預金において通貨間金利調整を行った後の実質円預金利回り

## (3)金融再生法ベースの 카테고리による開示

金融再生法開示債権残高は、単体で前年同期比28億円減少の189億円、連結で前年同期比27億円減少の194億円となりました。開示債権比率は、単体で前年同期比0.22ポイント低下の1.16%、連結で前年同期比0.22ポイント低下の1.20%となりました。

開示債権比率は、低い水準となっており、銀行の資産の健全性に問題はございません。

## 【単体】

(単位：億円、%)

	①2019年6月末	②2018年6月末	増減額(①-②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	67	68	△0
危険債権	43	62	△19
要管理債権	77	85	△8
開示債権合計	189 (1.16)	217 (1.38)	△28 (△0.22)

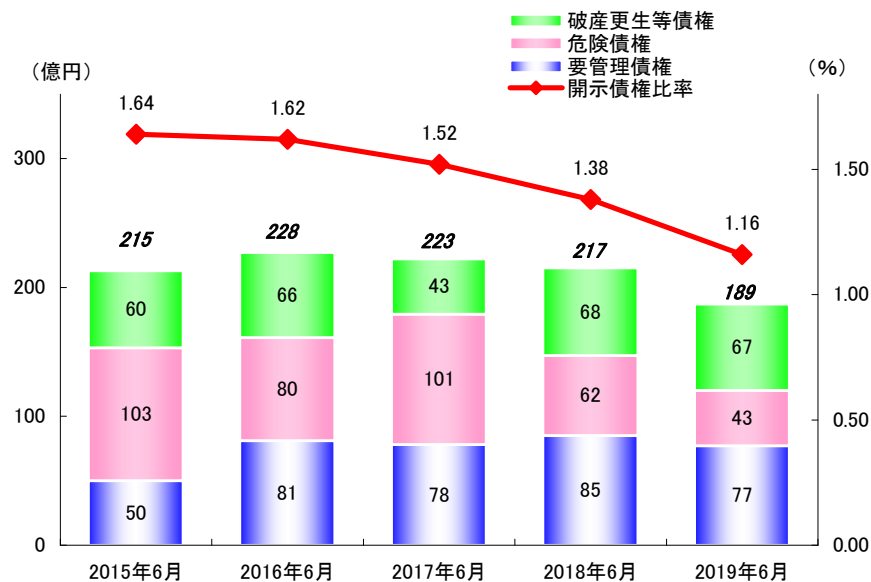
(参考)

(単位：億円、%)

	③2019年3月末	増減額(①-③)
	75	△7
	44	△1
	73	4
	193 (1.18)	△4 (△0.02)

(注) 信託勘定を含んでおります。

## 金融再生法に基づく開示債権額・比率【単体】



## 【連結】

(単位：億円、%)

	①2019年6月末	②2018年6月末	増減額(①-②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	72	73	△0
危険債権	43	62	△19
要管理債権	77	85	△8
開示債権合計	194 (1.20)	221 (1.42)	△27 (△0.22)

(参考)

(単位：億円、%)

	③2019年3月末	増減額(①-③)
	80	△7
	44	△1
	73	4
	199 (1.22)	△4 (△0.02)

(注) 信託勘定を含んでおります。

## (4) 有価証券の評価差額【連結】

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含めておりません。

(単位：億円、%)

(参考)

(単位：億円、%)

	①2019年6月末		②2018年6月末		増減額 (①-②)		③2019年3月末		増減額 (①-③)	
	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益
満期保有目的の債券	109	11	110	10	△ 0	1	109	11	△ 0	0
債券	109	11	110	10	△ 0	1	109	11	△ 0	0

(単位：億円、%)

(参考)

(単位：億円、%)

	①2019年6月末		②2018年6月末		増減額 (①-②)		③2019年3月末		増減額 (①-③)	
	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額
その他有価証券	3,806	147	3,977	161	△ 170	△ 14	3,743	150	63	△ 3
株式	167	62	240	101	△ 73	△ 38	180	71	△ 12	△ 8
債券	3,181	71	3,111	61	70	10	3,107	69	73	1
その他	457	13	625	△ 0	△ 167	14	455	9	2	3
うち外国債券	117	4	166	0	△ 49	3	123	3	△ 5	1

(注) 各四半期末の「含み損益」及び「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後・減損処理後)と時価との差額を計上しております。

## その他有価証券の評価差額【連結】

